

③第3回交流セミナー

■日時：平成24年3月5日（月）

■場所：財団法人ベターリビング 7B・7C会議室

■プログラム：

15：00～16：05 ヨーロッパにおける省エネ・ゼロエネ建築事情

（住宅技術評論家 南 雄三氏）

16：10～17：30 対論 家の燃費を表示する「エネルギーパス」

～その現状と今後の方向性

（一般社団法人 日本エネルギーパス協会 理事 今泉太爾氏
住宅技術評論家 南 雄三氏）

17：30～17：45 質疑応答

■主な内容

25年にわたり高断熱・高気密住宅、パッシブ住宅等に取り組みられてきた南雄三氏より、ヨーロッパにおける省エネ・ゼロエネ建築の最新動向及び近年の日本の施策の流れについてご講演いただいた。

その後、エネルギーパス協会今泉氏を交え、対論形式でヨーロッパ、特にドイツでは義務化されている表示制度「エネルギーパス」を紹介いただいた。

□南氏の講演のポイント

○海外の省エネ・ゼロエネ建築事情

- ・ドイツやスイスは法令基準による底上げと、任意の民間基準による誘導という2段階構成でかなりレベルの高いパッシブ住宅となっている。
- ・イギリスでは、2016年以降の新築住宅はすべてゼロカーボン住宅とすることが目標と定められ、これに向けた厳しい省エネ推進策が進められている。

○日本の施策の流れ

- ・表示と任意制度で、伝統木造の生き残りレベルの高い家へのインセンティブ付与による誘導の両方が可能となるのではないかと。

□対論

日本におけるエネルギーパスの可能性、その計算方法、要件や表示方法等について、南氏からの質問に今泉氏が答える形で対論が進められた。



南氏の講演



南氏の講演



南氏と今泉氏の対論



質疑応答の様子